

# 新しい時代の幕開け



埼玉県知事  
社会福祉法人  
埼玉県社会福祉協議会会長

## 上田清司

明けましておめでとうございませう。昨年はお正月デジャネイロオリンピック・パラリンピックでの本県ゆかりの選手の活躍に、大きな感動と勇気をいただきました。2019年のラグビーのワールドカップ大会、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、両大会が素晴らしい大会になるようにしっかりと準備を整えてまいります。さて、埼玉県の勢いには、ここ10年、目を見張るものがあります。圏央道の県内区間全線開通や、北陸新幹線、北海道新幹線の開業で交通アクセスが飛躍的に向上し、本県の立地優位性は高いに高まっています。このように、埼玉県は著しい成長を遂げておりますが、今後は今まで経験したことのない局面を迎えます。

団塊の世代が75歳以上となる2025年にかけては、急激に高齢化が進むとともに、生産年齢人口の減少による社会の活力の低下が懸念されています。誰もが将来に希望を持ち、生き生きと活躍できる社会を築くため、更に知恵を絞り工夫を凝らしてはなりません。埼玉県は、生活保護世帯の子供の学習支援や糖尿病重症化予防対策など、本質を突いた施策の展開で国を動かしてきました。工夫できることは、まだまだあります。

女性の社会参画を進める「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」は、全国に知られてきました。さらに、マグネシウム蓄電池などその成果が出つつある「先端産業創造プロジェクト」も力強く進めていきます。様々な機関との連携を深化させ、実用化、製品化開発を促進していきます。また、日本の将来に関わる少子化対策にも力を入れて取り組みたいと思っております。私は、今後も時代の本質を考え、その解決に向け全国をリードしていきたいと考えています。今年も県政への御理解と御協力を御願ひ申し上げます。

## 巻頭インタビュー

# 佐々木流 勝つ組織の作り方 選手が主体の人材育成術

サッカー女子ワールドカップ大会で、なでしこジャパン（日本女子代表チーム）を優勝に導き、サッカーファンはもちろん、日本中を元気にしてくれた佐々木則夫さん。チームを率いて世界の舞台で戦ってきた経験を通し、培った人材育成術についてお話を伺いました。

「佐々木さんが女子サッカーの指導を始めたきっかけはどのようなものでしたか。また、チーム作りで意識したことを教えてください。」

もともと男子サッカーの指導をしていましたが、日本サッカー協会から女子代表を指導してみないかと声を掛けていただいたのがきっかけです。彼女たちのサッカーを見たときに、これは一流になると感じました。男子では、外国人選手と比べ、フィジカル（体格・体力）で分が悪いのですが、協調性や技術は決して負けないと感じていましたので、選手たちの長所をどう伸ばしていくかという視点を持って指導していました。その経験やイメージを必ず女子の指導にも生かしていけると思っただけです。日本の女性は協調性があり、目配りや気配りが出来ます。そうした良さは、なでしこジャパンの緻密かつ組織的なサッカーとなって表れています。また、女性は男性と比べて、遠慮なくじっくりと話し合うことが出来ると思います。話し合いの結果「集団的な知性」を形成出来るのも強みですね。なでしこジャパンには、選手を支えるための、テクニカル部隊、メディアカル部隊、運営部隊があります。そこで、指導者として重要なのは、いま置かれている立場や環境、物足りなさなどを分析し行動していくことだと考え、私は組織全体において二つのことに取り組みました。まず一つは、各部隊に権限を委譲することでした。彼らを主導するのは監督の私ですが、ある程度の権限は委譲すべきだろうと思いました。各々担当する分野に責任を持たせたかったんです。もう一つは、三つの部隊を一枚岩にすることでした。選手が目標に向かっていくためには、準備段階で三つの部隊が連携することがすごく重要なんです。そして常に「プレイヤーズファースト（選手第一主義）」という気持ちを全員が持つことです。

「スタッフ同士、各部隊の間で連携していくことが大切ですね。」

2008年の北京オリンピックの時に掲げていた目標はベスト4だったのですが、その思いが強く、うまく連携が取れなかった部隊が

## 佐々木 則夫さん

十文字学園女子大学 副学長  
大宮アルディージャ トータルアドバイザー



### ささき・のりお

明治大学を経て日本電信電話公社に入社し、電電関東/NTT関東サッカー部(大宮アルディージャの前身)でプレー。ジャパンフットボールリーグ時代のアルディージャ監督を務め、その後は大宮の強化普及部長及びユース監督を歴任。2006年 サッカー日本女子代表コーチ及びU-17日本女子代表監督に就任。2007年 U-20日本女子代表監督を務め、日本女子代表監督に就任。北京オリンピックでは日本女子サッカー史上初の世界大会4位入賞。2011年 FIFA女子ワールドカップで男女通じて日本初の優勝へ導いた。アジア人として初となるFIFA女子世界年間最優秀監督賞を受賞。2012年 ロンドン五輪では男女通じて日本のサッカー史上初の銀メダル獲得。2015年 FIFA女子ワールドカップでは2大会連続で決勝進出、準優勝に導いた。



ソフトな語り口で、時々冗談を交えお話をされました。

**ケアハウスまきば園**  
 行田市白川戸275  
 ☎048-555-2202

笑顔が自慢のまきば園で、安心した生活を送りませんか？  
 ご夫婦でのご入居もお待ちしております！

<p>高齢者総合ケア施設  <b>まきば園</b>          ☎048-555-2202 行田市白川戸275</p>	<p>元気な挨拶と明るい笑顔！  <b>鴻巣まきば園</b>          ☎048-547-2202 鴻巣市前砂517-1</p>
<p>全室個室・ユニットケアの新型特養  <b>岩槻まきば園</b>          ☎048-797-2202 さいたま市岩槻区横根1375</p>	<p>開放感あふれる鮮やかなケア施設  <b>武里まきば園</b>          ☎048-739-2202 春日部市武里中野705</p>

～平成29年3月 越谷市袋山に新規オープン～

**小規模多機能型居宅介護・グループホーム  
 ふくしのまち大袋**

**ご入居、ご登録受付中!!**

◆◆◆Our Mission◆◆◆  
 「人と地域を結ぶヘルスケア企業」  
 =「ソーシャルビジネス」を通じて  
 地域の福祉や街づくり、人づくりに貢献します。

**株式会社 福祉の街** ☎048-645-2943  
<http://www.youism.co.jp>  
 さいたま市大宮区桜木町1-12-5 沢田ビル4F  
 スタッフ(介護・看護)募集中!! お気軽にお問い合わせ下さい。



リーダーの責任を語る時は、厳しい表情をのぞかせます。